

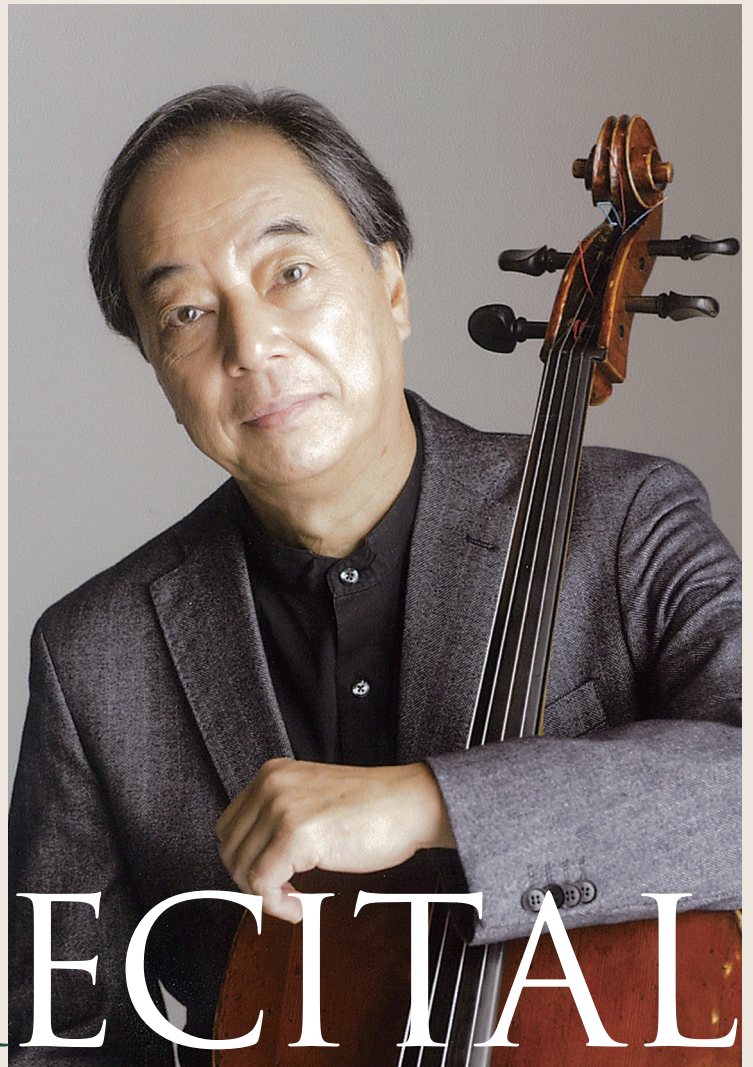
原田禎夫 & 加藤洋之 デュオ・リサイタル

オール・ベートーヴェン・プログラム
All Beethoven program

チェロ・ソナタ 第4番 ハ長調 作品102の1
Sonata for Violoncello and Piano No.4 in C major, Op.102-1

チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 作品5の2
Sonata for Violoncello and Piano No.2 in G minor, Op.5-2

チェロ・ソナタ 第5番 ニ長調 作品102の2
Sonata for Violoncello and Piano No.5 in D major, Op.102-2



DUO RECITAL



SADAO HARADA
(VIOLONCELLO)

&

HIROSHI KATO
(PIANO)

2021.9.19 [日] 14:15開場・15:00開演

水戸芸術館コンサートホールATM

料金(全席指定):一般 3,500円・U-25 (25歳以下) 1,000円

※U-25チケットの取り扱いの水戸芸術館のみ

◎チケット発売:7月31日[土]

財団運営維持会員先行予約:

7月27日[火] ※電話・WEB予約のみ

水戸芸術館メンバーズ先行予約:

7月28日[水] ※電話・WEB予約のみ

※会員先行予約がありますので、一般発売日の7月31日の時点で、
水戸芸術館取り扱い分が終了している場合があります。

主催:公益財団法人 水戸市芸術振興財団

※当館では新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行っており、
通常の定員より少ない席数で開催する予定です。ただし今後の感染
状況により、座席が追加される場合や席の移動をお願いする場合も
あります。あらかじめご了承の上、お求めください。

原田禎夫&加藤洋之 デュオ・リサイタル

大作曲家ベートーヴェンを求める旅へ

ベートーヴェンはチェロという楽器に恋をしていたのではないだろうか。ピアノと即興演奏の名手として音楽家人生のスタートを切ったベートーヴェンは、落ち着いた佇まいのチェロという楽器に、憧れのような感情を抱いていた。だからこそ、〈英雄〉や〈ラズモフスキー第1番〉など偉大な傑作の主題提示をチェロにゆだねたのだろう。だからこそまた、先輩作曲家であるハイデルもモーツァルトも1曲も手がけなかった〈チェロ・ソナタ〉というジャンルに、5曲もの傑作を残したのだろう。

東京クワルテットで30年間チェロを弾き、現在は後進を育てる傍ら、水戸室内管弦楽団の中核メンバーとしても活躍を続ける原田禎夫が、あらためて〈チェロ・ソナタ〉の最高峰にいだむ。共演には、ソリストとして、また室内楽奏者として国際的に活動し、原田禎夫との共演歴も20年以上に及ぶピアニスト、加藤洋之が選ばれた。

プログラムを見ると、ベートーヴェンの〈チェロ・ソナタ〉の集大成ともいえる作品102の2曲（〈第4番〉と〈第5番〉）を始めと終わりに置き、間に20代の若さで書かれた〈第2番〉が挿まれている。まるで大作曲家の円熟期と青年期の創作を行き来する旅のようなプログラム。20年の間に、作曲の筆の運び方は大きく変化した。しかし、チェロという楽器に対する憧れのような感情は、いずれの作品からも等しく感じ取れはしまいか。

新型コロナウイルスの脅威により、人と人とが直接的にふれあうことが難しくなって、久しい。しかし、音楽という不思議な現象は、時空を超えて偉大な芸術家のたましいに触れることを可能にしてくれる。原田禎夫と加藤洋之のデュオに導かれ、大作曲家ベートーヴェンを求める旅へと出かけよう。

原田禎夫 (チェロ)

Sadao Harada, Violoncello

NHK交響楽団のチェロ奏者だった父から手ほどきを受け、その後齋藤秀雄に師事。桐朋学園大学を卒業。第33回日本音楽コンクール・チェロ部門優勝。ジュリアード音楽院に入学し、クラウス・アダムス、ロバート・マン、ラファエル・ヒリヤーに室内楽を師事。1969年に東京クワルテットを創設し、ミュンヘン国際音楽コンクールなどで優勝を飾り、一躍世界的な話題をさらった。1999年に東京クワルテットを退団後は、日本はもとより欧米各地で演奏活動を展開。2001年からは水戸室内管弦楽団のチェロ奏者を務めるほか、サイトウ・キネン・オーケストラにも参加。2006年に結成したアミーチ・クワルテットとして、日本各地、アムステルダム・コンサートヘボウ、イタリアやドイツ各地、アメリカ・ワシントンDC等で演奏、室内楽講習会を続ける。また、小澤征爾音楽塾、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀などで後進の指導にもあたっている。アメリカ・イェール大学音楽学部教授、ドイツ・トロツィンゲン国立音楽大学教授を経て、現在は上野学園大学特任教授を務める。



加藤洋之 (ピアノ)

Hiroshi Kato, Piano

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学を首席で卒業。大学院在学中の1990年にジュネーブ国際音楽コンクール第3位入賞し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学、その後ドイツ・ケルンでも研鑽を積む。これまでハンガリー国立響、ブダペスト・フィル、ブルガリア国立放送響、ヘルシンボリ響、東京都響、日本フィルなど内外のオーケストラとの協演、ウィーン芸術週間、プラハの春、ルセ国際音楽祭、リムーザン室内楽フェスティバル等の音楽祭、ウィーン楽友協会、ウィグモア・ホールをはじめヨーロッパの主要ホールへの出演など各地で演奏活動を続けている。ウィーン・フィルの奏者たちと頻繁に室内楽を演奏し、特にライナー・キューヒルと1999年以来デュオパートナーとして国内外において数多くの公演を重ねてきた。2019年にオクタヴィアレコードより初のソロCDがリリースされレコード芸術誌で特選盤となる。令和元年度文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

【主催者からのお知らせ】

本公演は、当初2020年11月に予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により取り止めとなりました。私どもはできるだけ早い時期に延期公演をと考え、出演者と日程調整を進めた結果、2021年9月19日に開催できる見通しとなりました。どうぞご期待ください。

●チケットの取り扱い

水戸芸術館 (9:30~18:00/月曜休館)

・エントランスホール内チケットカウンター

・チケット予約センター 029-231-8000

・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

かわまた楽器店 029-226-0351

ヤマハミュージックリテイリング水戸店 029-244-6661 (店頭販売のみ)

●お問い合わせ: 水戸芸術館 チケット予約センター 029-231-8000 / 営業時間: 9:30~18:00 (月曜休館)

●入館時の検温にご協力をお願いいたします。37.5度以上の熱があった場合はご入場をお控え願います。●館内ではマスクの着用をお願いいたします。●まわりの方は距離をおとりください。

●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。●公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。●未就学児のご入場はご遠慮ください。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお客様へのお願い】

●新型コロナウイルス感染症の再拡大など、状況の悪化により内容の変更や公演の中止または延期を余儀なくされる場合もございますので、最新情報は当館ウェブサイトやSNSにてご確認ください。

●入館時の検温にご協力をお願いいたします。37.5度以上の熱があった場合はご入場をお控え願います。●館内ではマスクの着用をお願いいたします。●まわりの方は距離をおとりください。

●体調がすぐれないお客様はご来場をお控えください。●手洗いと手指の消毒にご協力ください。●クロークのご利用は当面の間、中止させていただきます。

●出演者とのご面会にご遠慮いただきます。また、出演者への花束やプレゼントは、スタッフが預かりします。

●U-25チケットについて (枚数限定)

◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです (未就学児不可)。

◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。

◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。

◎取り扱いには水戸芸術館のみとなります。

●交通のご案内: JR常磐線水戸駅北口より、

パスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063

TEL. 029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>



至千原駅 至常陸大田 至日立
至水戸駅 至大洗 至日立
至水戸IC 至水戸駅 至大洗 至日立
至水戸駅 至大洗 至日立
至水戸駅 至大洗 至日立
至水戸駅 至大洗 至日立